

【1】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

幽霊のA凄味の点では日本は他国にひけをとらない。西洋人の生活の中には悪魔が幅をきかしているが、幽霊はあまり顔をださない。悪魔には日本の鬼や狐狸に通ずる一脈のB滑稽味と童話的な郷愁的な感情が流れ、今日の知識人の生活の中では、恐怖の対象であるよりも、C理知の故郷に住み古した一人の友達の感が深い。

幽霊は悪魔とちがって、徹頭徹尾凄味あるのみ、甘さやユーモアはC微塵もない。ひとつには人間の本能にひそむ死への恐怖が幽霊と必然的に結びついているためもあるが、又ひとつには「死んで恨みを晴らそう」という笑いの要素の微塵もない素朴な思想が、幽霊の本質的な性格を規定しているためである。

私は幽霊がきらいである。徹底的にきらいだ。憎んでもいる。私の理知は幽霊の存在を笑殺し否定することを知っているが、私の素朴な本能は幽霊の素朴な凄味にどうしても負ける。一応の理知の否定をもつてしても、素朴な恐怖をどうすることもできないらしい。私は日本の怪談がきらいだ。日本の怪談は世の諸々の怪談中でも王座をしめる凄味があるとの定評であるが、本能的な素朴な恐怖を刺戟する原始的な文学興味は余りに思想の低いもので、高い文学になり得る筈はないのだ。怪談の凄味は自慢の種になるよりも、その国の文化生活の低さを物語る恥のひとつと思つてよからう。

私はかような素朴な恐怖におびえる自分がたいへん厭だ。然し私のあらゆる理知をもつてしても、とうてい幽霊の存在を本質的に抹殺し去ることができないので、私に残された唯一の途は、幽霊と友達つきあいするよりほかに仕方がないといふことだ。そうして幽霊への本能的な恐怖をD柔げるよりほかに方法がないということである。

先日「幽霊西へ行く」といふ映画がきた。幽霊を滑稽化し、恋をさせたりしてE如何にも我々に親密なものとし友達つきあいのできる程度につくっているが、それはただ外形的なことであつて、幽霊の本質的な凄味、「死んで恨みを晴らそう」という素朴な思想は生のまま投げだされているにすぎない。幽霊の本質的な性格やF戦慄を我々の親しい友達としたものではないのである。

幽霊をさかんに登場させたヂッケンスも、然しその幽霊達は昔ながらの素朴な幽霊の概念であり、「死んで恨みを晴らそう」といふG不逞な思想を我々の親しい友とするために役立つことは全くなかった。

私の知る限りでは「死んで恨みを晴らそう」といふ不逞な凄味をそっくりそのまま人間化しH戯画化し、我々の涙ぐましい友達の一人として誕生させてくれた人にニコライ・ゴーゴリあるのみ。その「H外套」はI幽霊の持つ本質的な戦慄を始めて民衆の味方にかえた。読者は「外套」の幽霊と肩を抱きあつて慰めあい、J憂さ晴らしに腕を組んで居酒屋へ行きたくなる。幽霊を人間の味方にし親友としたゴーゴリは、幽霊に誰より怯えたJ臆病者でもあったのであろう。

(坂口安吾『幽霊と文学』)

問一. 傍線部A～Jの漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二. 傍線部①の「理知」の意味を簡単に説明した次の文の□にあてはまる漢字を一字ずつ答えなさい。

理□と知□

問三. 「幽霊」と「悪魔」との大きな違いは何だと考えられますか、次のア～ウから選び記号で答えなさい。

- ア. 友達の感の深さ
- イ. 生活の中に顔を出す頻度
- ウ. 死への恐怖

問四. 筆者が幽霊を嫌いである理由を、本文中から20字以内で抜き出しなさい。

問五. 本文中の傍線部②の「不逞」と同じような意味の単語を次の中から3つ選び記号で答えなさい。

- ア. 不定
- イ. ふらち
- ウ. 不安
- エ. 不屈
- オ. 不従順

問六. 本文中の傍線部③の「幽霊の持つ本質的な戦慄」とはなにか本文中から20字以内で抜き出しなさい。

【2】次のカタカナの部分の漢字で答えなさい。

- ① 意見をソynchウする
- ② ゲンカクな性格
- ③ インネンをつける
- ④ ムジュンした説明
- ⑤ ヘンケンを捨てる

【3】次の語の反対語を書きなさい

- ① 近海
- ② 充実
- ③ 散漫
- ④ 圧勝
- ⑤ 購入

【4】次の□に動物を表す漢字を入れて慣用句を完成させなさい。(カタカナでも可)

- ① □も食わない
- ② □をかぶる
- ③ □の涙
- ④ □につままれる
- ⑤ □の尾を踏む

【5】次の作品の著者を解答群から選び記号で答えなさい。

- ① 河童
- ② 三四郎
- ③ 潮騒
- ④ 夜明け前
- ⑤ 風神の門

【解答群】

- ア. 芥川龍之介
- イ. 夏目漱石
- ウ. 小林多喜二
- エ. 司馬遼太郎
- オ. 島崎藤村
- カ. 三島由紀夫

【6】次の文章の傍線部が、敬語の使い方として正しいと思われるものには○、そうでないものには×を書きなさい。

- ① あなたのおつしやる通りです。
- ② 私が、そちらにまいります。
- ③ お客様は、こちらに伺うことができますか。
- ④ 昨日、貴方様に電話をなされたと思うのですが。
- ⑤ 朝食を、ごゆつくりといただきます。